



祐介の目

大田ゆうすけ

(福山市議会議員)

No.96

毎月1日号に掲載

市民交流により充実した内容であった。福山市民の間にスポーツクライミングという競技が認知され、県内でもお手本となる合宿だったと言える。

中でも選手の印象深かった行事は、山野町で開催した山岳会会員との交流会で

メキシコ・キャンプ

広島県はメキシコと東京オリンピック事前合宿の協定を結び、福山市は8種目を受け入れている。私は福山山岳会の会長としてスポーツクライミングチームの合宿(キャンプ)に2年連続で関わった。

この合宿には伏線がある。まず競馬場跡地に新体育館ができるが決まった際に山岳会はスポーツクライミング壁の建設を要望した。当時はまだクライミング人気は発展途上であり交渉は難航したが、スポクラが東京オリンピックの正式種目に採用されたことが後押しとなった。次に県内どの市町が合宿を受け入れるかを協議した結果、新たなクライミング壁が出来る予定の福山市が適任となった経緯がある。

合宿は7月〜8月にかけて平成大学と市内3ヶ所のクライミングジムの全面的な協力と、山岳会会員のサポート、滞在ホテルによる配慮や多くの

爆・龍頭の滝まで沢登り(シャワークライミング)に行き、滝壺に飛び込んだ後、山野産の手打ちそばを味わった。今年是小田川で力ヌー遊びの後「やまの宿・西元」で山野ワインと山野で獲れた猪肉の赤ワイン煮込みや素麺流し、かき氷、スイカ割り等を堪能した。メキシコ選手の手の心の中にいつまでも「ヤマノ」が残ること間違いない。

合宿終了後、選手は八王子で開催された世界選手権に出場した。残念ながらメキシコ選手は予選落ちだったが、多くの日本人選手が上位入賞した。スポクラは東京オリンピックでメダル獲得が大いに期待される種目である。そのオリンピックの年に完成する新体育館とシンボルの存在となる高さ15mのクライミング壁、日本人の活躍により福山に一大クライミングブームが到来する予感がある。時代の先を読んだ壁の建設提案と合宿の受け入れ成果が来年開花することだろう。